

2024年度 地域連携活動助成金 活動成果報告書

1 活動概要

活動団体名	明治大学ボランティアサークル「Relief」
活動テーマ	地域住民と協働した明大前商店街の振興 一体感治安の向上と魅力発信のボランティア活動を通してー
活動期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 2月 28日
主な活動場所	明大前駅近辺
連携地域 連携団体等	明大前商店街振興組合、明大前ピースメーカーズ、認定NPO法人改革プロジェクト、（公財）日本財団ボランティアセンター、世田谷区、世田谷区立松原小学校、世田谷区まちづくりセンター、足立区、東京都都民安全推進部、せたがや学生ボランティアネットワーク、社会福祉法人世田谷ボランティア協会、学生団体おりがみ、本と玉ねぎ。、ピアノの会「KLAVIER」、津軽三味線「響」、警視庁生活安全部生活安全総務課、警視庁神田警察署、株式会社京王電鉄、東京都公衆浴場生活衛生同業組合
活動者数	49名 ※ 活動に参加した本大学の教職員及び学生の人数を入力してください。

2 活動内容 ※活動内容や活動成果は地域連携センターHP等で公表します。

活動目的（地域が抱える課題との関係や活動により期待される効果等、本活動が地域の課題解決や活性化につながる事が分かるように記入してください。）
日本各地にある商店街は、かつて活気に満ち溢れていました。しかし、近年は少子化による住民の高齢化や郊外型大型商業施設の台頭により、顧客減少の煽りを受け店舗が閉店し、シャッター商店街化が深刻となっています。本学和泉キャンパスの最寄り駅・明大前駅に存在している明大前商店街も例外ではありません。明大前商店街は元来、学生街として賑わっていました。しかし、現在学生はシャッター化が進む商店街の店舗ではなく、大手チェーン店を利用したり、新宿、渋谷、下北沢などに足を向けたりしています。それにより商店街の店舗数の減少、さらに学生が外に流出するという負のスパイラルが発生しています。商店街が寂れることで、地域経済の衰退はもちろんのこと、人の流れが滞ることにより治安悪化にもつながります。それは、地域住民や明大生に悪影響を及ぼします。 明治大学ボランティアサークル「Relief」は、明大前商店街の活性化に繋げるため、以下の7つの

活動を実行します。

1 明大前商店街と協働パトロール

ランニングしながらパトロール活動を行う「パトラン」や、明大前ピースメーカーズと協働してパトロール活動を行います。明大前商店街を巡回することで、治安を守りつつ、地域住民との交流を図ります。また、パトランは地域の人々に対する挨拶活動でもあります。地域の犯罪率を下げるとともに、地域住民の体感治安を向上させる効果が期待されます。

2 明大祭への出店

明大祭において商店街カフェを出店すると共に、明大祭商店街のボランティアも行いました。このことにより学生と商店街の間でPRや交流の場を提供し、学生がよりフランクに商店街を利用しやすくなることが期待されます。また、明大祭商店街においては明治大学と商店街の共同企画であるため、共生関係にある地域と大学がより一層親密に連携していく足掛かりとなり得ます。

3 明大前商店街のサポート

人手不足に陥っている明大前商店街の運営を明大生が補助します。例えば、イベント後の後片付けや組合員への連絡、世田谷区まちづくりセンターとの連携、広告管理を私たちが担当することで、より魅力的な商店街作りをサポートします。最終的には協力体制を整え、全国初の取り組みとなる「商店街学生部」の立ち上げを目指します。

4 SNSによる魅力発信

明大生や地域住民に明大前商店街の魅力を理解してもらい、実際に訪れてもらうために、SNSを使った情報発信を行います。店舗それぞれの魅力やイベント情報を発信することで、商店街の来客数増加を狙います。

5 明大祭でのPRブース設置・運営

ユーザーアンケート情報の収集や、普段明大前商店街を利用しない層へのPRのために、明大祭で商店街の物品を販売したり、明大前商店街の魅力をPRしたりするブースを設置・運営します。

6 地元小学校でのボランティア

明大前商店街と関わりが深い世田谷区立松原小学校で、行事運営の補助やプール授業での安全管理といったボランティア活動を行います。明大前商店街と地域住民と明大生の交流を促進させます。また、昨今問題となっている小学校教員の長時間労働問題や、子どもたちの安全管理という社会問題に貢献します。

7 広範なネットワークの構築

他大学の学生や区内の市民団体と連携・情報共有するために、「世田谷区ボランティアネットワーク」に参加し、定期的に活動経過や結果を発表します。世田谷区内に自分たちの活動を発信しつつ、自分たちの活動へのフィードバックを得ます。また、この草の根活動の成果を毎春開催される「大学生のためのボランティア EXPO」（公益財団法人日本財団ボランティアセンター主催）に参加して、広く発信します。

活動計画（活動目的を達成するための具体的な計画や方法、申請団体と連携地域・団体等がそれぞれ担う役割、過年度の活動実績や次年度以降の継続性等について記入してください。）

1. 明大前商店街と協働パトロール

1-1. 具体的な手順や方法

体感治安向上や地域住民との交流を目的として、走りながら挨拶する防犯活動「パトラン」と明大前ピースメーカーズと協働した防犯活動を実施します。不法投棄・街灯切れ・道路の破損箇所などを発見し、世田谷区の関係部署へ情報を伝達することで、より住みやすい地域づくりに貢献します。

1-2. 申請団体・連携地域・団体等がそれぞれ担う役割

・「Relief」

明大前商店街関係者へのヒアリングや現地調査に基づいて、犯罪発生率や人通りの多い場所などを考慮した効率的なパトロールルートを考案します。そのルートに沿って、明大前商店街振興組合と協働してパトロールを定期的実施します。

- ・「認定 NPO 法人改革プロジェクト」
具体的な実践方法について指南していただき、ビブスや腕章を提供していただきます。
- ・「（公財）日本財団ボランティアセンター」
認定 NPO 法人改革プロジェクトより提供していただく物品の資金は「PATORUN CLUB TEAM For School」プロジェクトの一環として（公財）日本財団ボランティアセンターより提供されます。
- ・「明大前ピースメーカーズ」
明大前ピースメーカーズは、2017 年の EU 犯罪防犯関係国際会議や内閣総理大臣表彰に取り上げられた全国初の防犯パトロール隊です。20 年以上明大前駅付近や松原町の治安向上に貢献してきましたが、現在パトロール隊員の高齢化が問題となっています。「Relief」の明大生がパトロール活動を協働することにより、明大前ピースメーカーズが長年築いてきた実績と信頼を最大限活かすことができます。

1-3. 過年度の活動実績

- ・2023 年 11 月～現在、明大前商店街周辺のパトロール活動実施（計 8 回）
- ・2023 年 11 月～現在、NPO 法人パトラン東京が主催した警察署との連携活動（計 9 回）
- ・2024 年 3 月 6 日、「パトラン明治大学支部」を設立
全国初のパトランの大学支部として、和泉ラーニングスクエアにてキックオフセレモニーを行いました。当日は、本学広報のほか、ローカルテレビ局 J:COM、大東京防犯ネットワークによる取材が実施されました。
- ・2024 年 3 月 5 日、スポーツブランド「On」とタイアップ「Community Day」参加
- ・2024 年 3 月 10 日、「葛飾ふれあい Run フェスタ」参加
- ・2024 年 4 月 6 日、「関東パトランサミット」参加

1-4. 次年度以降の継続性

今年度本学の公認サークル申請を行う予定であり、次年度以降は部員をさらに集めて実施する予定です。

2. 明大祭への出店

2-1. 具体的な手順や方法

事前に商店街振興組合を通じて、約 5 名のインタビュー対象者に依頼し、実施します。その内容をもとにポスターを作成し、明大前商店街振興組合の方々に確認していただいた上で、フィードバックを反映し掲示します。また、カフェで提供する飲食物は Relief が準備します。

2-2. 申請団体・連携地域・団体等がそれぞれ担う役割

- ・「Relief」
地域にゆかりのある方々に大してインタビューを実施し、その内容をまとめたポスターを作成します。また、カフェの運営や商店街 PR 活動に積極的に関わり、来場者とのコミュニケーションを図ります。
- ・「明大前商店街振興組合」
インタビュー対象者への仲介を担当していただきます。また、さらにポスターに原稿を確認していただき、事実確認や情報の追加などを行ってまいります。

2-3. 過年度の活動実績

本年度からの取り組みのため過年度の実績はありません。

2-4. 次年度以降の継続性

次年度以降もサークルの地域貢献活動の一環として取り組みます。

3. 明大前商店街のサポート

3-1. 具体的な手順や方法

「Relief」内で商店街チームを設けます。商店街関係者との連携を図り、商店街が抱える人手不足に陥っている作業に対し、ボランティア活動を展開します。具体的には、明大前音楽祭の準備・後片付けに伴う物品整理、組合員への連絡の仲介やチラシの配布、松原橋や明大前駅やピースメーカーズボックスの広告管理を担当する予定です。ボランティアは主に 5 限、あるいは授業空きコマの時間帯に実施します。

3-2. 申請団体・連携地域・団体等の役割

- ・「Relief」
明大前商店街振興組合との打ち合わせや連絡を行い、それに基づきボランティアを2週間に1回のペースで定期的実施します。
- ・「明大前商店街振興組合」
現状に関する情報提供やボランティア活動場所の提供、商店街各店舗との連携の仲介を行ってまいります。

3-3. 過年度の活動実績

本年度からの取り組みのため過年度の実績はありません。

3-4. 次年度以降の継続性

次年度以降もサークルの地域貢献活動の一環として取り組みます。将来的には、全国初の「商店街学生部」の立ち上げを目標としています。

4. SNS による魅力発信

4-1. 具体的な手順や方法

「Relief」内でSNSチームを設けます。各店舗の個性やおすすめ商品、商店街全体の雰囲気、イベント情報などを紹介する写真投稿やリールコンテンツを作成します。それらを大学生や20、30代の利用者が多いInstagram、TikTokに投稿することで、若者世代や普段明大前商店街に立ち寄らない人に対して集客効果を狙います。

4-2. 申請団体・連携地域・団体等の役割

- ・「Relief」
コンテンツの撮影・編集・投稿を担当します。
- ・「明大前商店街振興組合」
「Relief」部員が明大前商店街について知識を深められるよう、商店街ツアーの実施、商店街の歴史の解説をしていただきます。その後、実際に特集する店舗との連絡の仲介をし、投稿作成のための取材先との打ち合わせに協力していただきます。

4-3. 過年度の活動実績

これまで約3ヶ月間SNSを運用し、活動を発信してきました。

4-4. 次年度以降の継続性

次年度以降もサークルの地域貢献活動の一環として取り組みます。

5. 明大祭でのPRブース設置・運営

5-1. 具体的な手順や方法

明大前商店街と協働しながら、明大祭期間中、商店街の魅力的な商品を取り扱う模擬店を出店します。当日、商品に関するアンケートを実施したり、実際に店舗に来店してもらえよう明大前商店街の魅力を発信するパンフレットを作成・配布します。

5-2. 申請団体・連携地域・団体等の役割

- ・「Relief」
明大祭実行委員会との打ち合わせやイベントの準備と実施、アンケート項目の作成、アンケートの実施と集計を行います。
- ・「明大前商店街振興組合」
協力してくださる店舗の仲介や取り扱う商品の選定、商品の準備を協力していただきます。

5-3. 過年度の活動実績

本年度からの取り組みのため過年度の実績はありません。

5-4. 次年度以降の継続性

次年度以降もサークルの地域貢献活動の一環として取り組みます。

6. 地元小学校でのボランティア

6-1 具体的な手順や方法

「Relief」内で小学校チームを設け、松原小学校が人的リソース不足で困っている諸課題に対して、ボランティアとしてサポートします。例えば、運動会などの行事運営を手伝ったり、水泳

やミシンの使用などの安全管理が必要な見守り活動を行います。

6-2. 申請団体・連携地域・団体等の役割

- ・「Relief」

松原小学校からのサポート要請を受け、そのボランティアを企画・実践します。

- ・「松原小学校」

経験の少ない学生ボランティアであっても、効率よく活動できるようにするため、適切な指示系統、具体的な方法の指導、教育に関する子どもたちそれぞれの特徴について情報共有をしていただきます。

6-3. 過年度の活動実績

令和6年度運動会（2024年6月1日）の設営ボランティアを行いました。

6-4. 次年度以降の継続性

次年度以降もサークルの地域貢献活動の一環として取り組みます。

7. 広範なネットワークの構築

7-1. 具体的な手順や方法

世田谷区が実施している「せたがや学生ボランティアネットワーク」に所属し、年に6回開催されるネットワーク会議と年に1回開催される学生ボランティアフォーラムに参加します。そこでのプレゼンテーション、ポスターセッション、パネルディスカッションを通じて、他大学の学生や区内の市民活動団体と、さらなる連携を図ります。さらに、この草の根活動の成果を毎春大阪で開催される「大学生のためのボランティア EXPO」（公益財団法人日本財団ボランティアセンター主催）に参加し、全国に広く発信します。

7-2. 申請団体・連携地域・団体等の役割

- ・「Relief」

各イベントで活動発表を行います。フォーラムや EXPO に参加する他大学生や関係者との連携を構築して、交流を深めます。

- ・「世田谷区生活文化政策部」

世田谷区職員からは活動の企画アイデアや改善策といったフィードバックをいただきます。

- ・「（公財）日本財団ボランティアセンター」

全国のボランティア団体を紹介していただき、「Relief」メンバーの学びを深め、外部連携を進められる手伝いをさせていただきます。

7-3. 過年度の活動実績

「令和5年度せたがや学生ボランティアネットワーク」（2023年12月16日）には現「Relief」のメンバー1名が参加し、パネルディスカッションのパネラーを担当しました。

7-4. 次年度以降の継続性

「せたがや学生ボランティアネットワーク」や「大学生のためのボランティア EXPO」は毎年定期開催されます。今後も引き続き参加します。

活動スケジュール

予定している活動スケジュールは以下になります。既に実施済みの活動も含めています。

活動時期	詳細
4月	パトロール活動のデモンストレーションを開始、以降2週間に1回ほど定期的に実施（8月まで定期的に実施）
5月	大東京防犯ネットワークによる取材の実施（15日） 明大前商店街振興組合との打ち合わせ開始、以降毎週定期的に打ち合わせ（15日） ボランティア内容について松原小学校校長先生との打ち合わせ（28日）
6月	商店街運営補助ボランティアの実施開始（7日） 明治大学と明大前商店街協働情報発信を発案した情報コミュニケーション学部清水先生、山内先生と打ち合わせ 明大祭エントリー（4日）

	抽選の結果を受け、メンバー募集を開始、明大祭の説明会に参加
	小学校ボランティア講習会を実施
	「第1回せたがや学生ボランティアネットワーク会議」に参加
7月	地域住民・大学生合同パトロール
	商店街とのSNSコンテンツ企画開始
	空きコマ時間帯で小学校のボランティアを定期的に行う（9月まで定期的実施）
8月	新規メンバーのパトランリーダー研修実施
	サマーフェスタ開催
	SNSチームのスキル研修実施
	明大前商店街含め明大祭の準備を開始（11月まで）
	「第2回せたがや学生ボランティアネットワーク会議」に参加
9月	本格的なパトロール活動を開始、以降1週間に1回ほど定期的実施
	第1回目のコンテンツの撮影・編集・発信・振り返りを行う
	「第3回せたがや学生ボランティアネットワーク会議」に参加
10月	夏の振り返りを行いつつ、秋学期の小学校ボランティアの打ち合わせ
	「第4回せたがや学生ボランティアネットワーク会議」に参加
11月	第2回目のコンテンツの撮影・編集・発信・振り返りの実施
	明大祭の実施、明大祭の売上・アンケート結果を商店街に報告
	フォーラムにて行う活動発表のポスター制作、パネルディスカッション、地域団体とのセッションの準備
12月	「令和6年度せたがや学生ボランティアフォーラム」にて今年度の活動結果を報告
1月	「第5回せたがや学生ボランティアネットワーク」会議に参加
2月	本年度の活動の振り返り、明治大学への活動報告書の提出
以下、次年度活動	
3月	パトラン明治大学支部設立1周年に合わせイベントを実施
	第6回せたがや学生ボランティアネットワーク会議に参加
4月	大阪にて「令和7年度大学生のためのボランティアEXPO」に参加

活動成果

1. 商店街との連携

① 協働パトロール

明大前商店街のピースメーカーズやNPO法人改革プロジェクトと協力し、地域の安全向上を目的とした協働パトロールを実施しました（写真1、2）。商店街の関係者や地元住民の皆さまとともに、小学生の下校時における見守り活動を行い、不審者の有無の確認や交通安全の確保に努めました。パトロール活動を通じて、地域住民の皆さまと防犯対策について意見を交換し、地域全体の防犯意識の向上にも貢献しました。

さらに、この活動の発展を図り、警視庁生活安全部生活安全総務課や警視庁神田警察署と連携し、痴漢撲滅キャンペーンセレモニーの開催に協力しました（写真3）。加えて、足立区危機安全管理課とも連携し、防火・防犯駅頭キャンペーンにも取り組みました（写真4）。



写真1



写真2



写真3

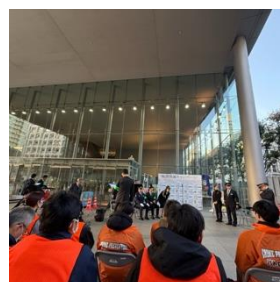


写真4

② 明大祭への出店

明大祭にて「商店街カフェ」の出店と「明大祭商店街」に対するボランティア活動を実施しました。

「商店街カフェ」では、飲料の販売と明大前商店街振興組合の方々のインタビュー内容をポスターで掲示しました。初めての出店でしたが、30人を超える来場者が訪れ、ポスターの内容についての質問をいただくなど、商店街に関心を持っていただける展示を行うことができました。その結果、多くの方に明大前商店街の魅力を知っていただくことができました（写真5）。

「明大祭商店街」では、「明大前駅を降りた瞬間から明大祭」というコンセプトのもと、明大通りを通行止めにし、商店街の屋台を出店する企画を実施しました。明大祭実行委員会や明大前商店街の方々と協力し、会場設営や撤収、当日の交通整備、屋台の運営補助を行いました。駅を出た瞬間から屋台が立ち並び、お祭りのような雰囲気を楽しんでいただくことで、多くの来場者の方々に喜んでいただき、明大前駅周辺を盛り上げることができました。この運営に関わったことで、明大前商店街振興組合の方から「Reliefがいなければ、そもそも開催することはできなかった」というお言葉をいただきました（写真6、7）。

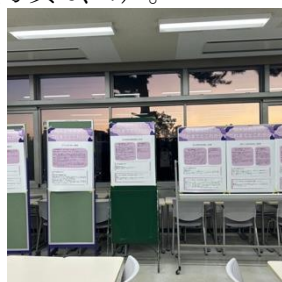


写真5



写真6



写真7

③ 明大前商店街のサポート

明大祭以外の時期でも、明大前商店街の要請を受け、年間を通じてさまざまな活動を実施しました。たとえば、商店街周辺の環境美化の一環として松原橋の清掃活動や、中元セールのボランティアとしてイベントの運営サポートに取り組みました。

さらに、商店街との継続的な関わりを築くため、明大前商店街振興組合専務理事のご案内のもと、サークル内で商店街ツアーを企画・実施しました（写真8、9）。また、9月には地域の活性化を目的として、菅原神社例大祭のボランティアとしてお神輿の運営に協力しました（写真10）。

そして、2月には一年間の活動の集大成として「消費者懇談会」を開催しました。消費者懇談会は、世田谷区経済産業部商業課が区内の商店街を対象に実施する調査事業であり、商店街の利用状況に関するアンケートや、街づくりに関する意見交換を行うものです。この機会を通じて、Reliefはこれまでの活動を踏まえた商店街活性化のための提案を行い、今後の活動計画に役立てました（写真11）。

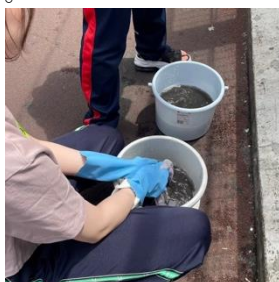


写真8



写真9



写真10



写真11

④ 商店街店舗でのイベント開催

明大前商店街の店舗「本と玉ねぎ。」と連携し、音楽イベントを企画・実施しました（写真12）。「本と玉ねぎ。」は、昨年の啓文堂書店の閉店後、「明大前に本屋を残したい」という思いから立ち上げられ、2025年2月時点では明大前唯一の書店となっています。今回のイベントでは、より多くの人々に本の魅力を伝えることを目的に、ピアノ演奏と読み聞かせを企画しました。演奏は、明治大学公認サークル『ピアノの会「KLAVIER」』とコラボレーションし、実施しました。今後も継

続的に『ピアノの会「KLAVIER」』と協力し、イベントを企画する予定です。



写真 12

⑤ 高齢者コミュニティでのイベント開催

商店街地域の高齢者コミュニティ「サロンドモナミ」と連携し、音楽イベントを企画・実施しました（写真 13）。

「サロンドモナミ」は、定期的に集まり、音楽や運動を楽しむことで、健康的に長生きすることを目的とした団体です。今回のイベントでは、クリスマスソングを楽しむことをテーマに、『ピアノの会「KLAVIER」』とコラボレーションして実施しました。次回は4月頃に、明治大学公認サークル「津軽三味線『響』」と協力し、日本の伝統音楽を楽しむイベントを企画する予定です。



写真 13

2. 他団体との連携

① せたがや学生ボランティアフォーラム

本イベントは、世田谷区内で活動する大学生がボランティア活動について発表し、地域住民とつながることを目的としたイベントです（写真 14）。Relief は、「せたがや学生ボランティアネットワーク」の一員として企画・運営に携わり、世田谷区や社会福祉法人世田谷ボランティア協会と連携しながら、イベントの成功に貢献しました。本イベントでは、ゴミ分別ゲームやポスターセッション、活動発表、ボランティア適性診断などの企画を実施し、50 名以上の学生ボランティアや地域団体との交流を促進しました。また、本イベントの活動報告書の作成も担当しており、3 月ごろ世田谷区 HP で公開される予定です。

さらに、Relief の本イベントにおける貢献が評価され、学生ボランティアネットワークの代表として「世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設事業運営委員会準備会」のオブザーバー委員に推薦・任命されました。本委員会は、世田谷区の新庁舎が令和 8 年度に開設されるにあたり、その運営に関する課題や改善策について協議するものです。



写真 14

② 学生パビリオン inTAKANAWA

本イベントは学生の社会活動を発信・共有していく中で、化学反応を生み出し共創していくきっかけを作ることを目的とした学生団体おりがみ主催（JR 東日本協賛）のイベントです。Relief は下記の「**日本生命 presents BEACH CLEAN**」で交流があった学生団体おりがみから招待を受け、参加しました。（写真 15）

多様な団体が集まり、それぞれの活動や課題について共有する貴重な機会となりました。特に、リーダーシップや企画のやり方についての話は、自団体の運営の参考になりました。また、異なる分野の学生との交流を通じて、新たなコラボレーションの可能性を生む場ともなりました。



写真 15

③ 東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部

東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部と協力し、地域の防犯ボランティア同士の連携を構築することを目的とした「防犯ボランティアの集い」に参加し、そこで活動発表を行いました（写真 16）。

発表では、サークルの地域における防犯活動の取り組みやその成果、今後の展望について共有しました。参加者の方々からは、「学生が熱心に活動に取り組んでいることを知り、自分たちの活動の励みになった」という感想をいただくことができました。

また、12 月には防犯ボランティアの情報を集めるサイト「大東京防犯ネットワーク」のリニューアルに伴い、ユーザーテストを担当しました。学生ボランティアの視点からサイトの改善策を提案し、より使いやすいものとなるよう貢献しました。



写真 16

3. その他の企画

① 銭湯企画-京王線湯スタンプラリー

サークル活動をさらに発展させ、地域貢献活動の一環として銭湯活性化に取り組むボランティアプロジェクトを、部員の発案のもと始めました（写真 17）。銭湯は地域コミュニティの重要な場所ですが、近年、利用者の減少が問題となっています。そこで、地元住民や若者を対象にしたボランティア活動を通じて、銭湯の魅力を再発見し、地域とのつながりを深めることを目的として活動を開始しました。

本年度は、株式会社京王電鉄とコラボレーションし、「京王線湯スタンプラリー」の対象銭湯を紹介するブログを執筆し、銭湯の良さを広める活動を実施しました。今後も明治大学の他のサークルや各銭湯と協力しながら、イベントを企画・実施する予定です。



写真 17

② ごみ拾い活動-渋谷ごみゼロ大作戦 2024、スポ GOMI in 市川、日本生命 presents BEACH CLEAN

商店街地域以外でも、サークル内外の交流を兼ねて、さまざまな地域でゴミ拾い活動に取り組みました。例えば、「渋谷ごみゼロ大作戦 2024」や「スポ GOMI in 市川」では、新入生歓迎のイベントも兼ねており、環境保護の重要性を実感しながら、サークルメンバー間の交流の場としても機能しました。また、株式会社ミラサスが主催する「日本生命 presents BEACH CLEAN」では、日本生命保険相互会社の協賛を受け、海岸の清掃活動を行いました。この活動には、関東圏の各大学から 150 名以上のボランティアが参加し、団体間での交流も盛んに行われました。ボランティア活動を通じて、参加者は環境保護の大切さを実感し、異なる大学の仲間たちと意見を交わすことができました。

4. WEB 掲載

① 明治大学校友会

Relief の商店街に関する活動は明治大学校友会に取り上げられ、以下の記事に掲載されました。
<https://www.meiji-shikon.net/current-student/alumni015/>

② 足立区HP

足立区危機安全管理課と連携し行った防犯・防火駅頭キャンペーンの活動様子は、以下のサイトに掲載されました。
<https://www.city.adachi.tokyo.jp/kikikanri/bosai/bohan/2024ekitoucampaign.html>

③ 世田谷区HP

「せたがや学生ボランティアフォーラム」の様子や「世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設事業運営委員会準備会」の取り組みは、世田谷区 HP の以下のサイトに掲載されました。
 フォーラム：<https://www.city.setagaya.lg.jp/02100/19495.html>
 運営委員会準備会：<https://www.city.setagaya.lg.jp/02100/20466.html>

④ 大東京防犯ネットワーク

『防犯ボランティアの集い』の様子は、大東京防犯ネットワークの以下の記事に掲載されました。
 令和 6 年度 6 月：
https://www.bouhan.metro.tokyo.lg.jp/90_archive/topic/report_2024/06/p0613.html
 令和 6 年度 10 月：
https://www.bouhan.metro.tokyo.lg.jp/90_archive/topic/report_2024/09/p0926.html

⑤ 社会連携事務室

商店街店舗や銭湯企画といった取り組みは、以下のサイトに掲載されました。
<https://www.meiji.ac.jp/social/student.html>

⑥ 学生団体メイキョク（旧明治大学情報局）

銭湯企画で作成したブログ記事は、学生団体メイキョクに取り上げていただきました。
<https://meiji-jouhoukyoku.com/>

⑦ 株式会社ミラサス

日本生命 presents BEACH CLEAN 開催レポートは、以下のサイトに掲載されました。
<https://mirasus.jp/news/15227>

5. 総括と今後

本年度の活動を振り返ると、商店街との連携を発展させ、防犯活動や環境美化、地域イベントの企画・運営など、多岐にわたる取り組みを実施し、地域社会に貢献できたことを実感しております。明大前商店街との協働では、振興組合の役員の方々に限らず、地域の皆さまと信頼関係を築くことができ、継続的な協力体制を確立できたことが大きな成果となりました。また、せたがや学生ボランティアフォーラムや学生パビリオン in TAKANAWA、東京都の都民安全推進部など、他団体との連携を通じて、活動の幅を広げることができました。

今後は、商店街との関係をさらに深め、イベントの企画・運営の質を向上させることを目指してまいります。より多くの方々に地域の魅力を伝え、地域活性化に貢献できるような企画を実践していきたいと考えております。また、サークルとしての組織体制を整備し、誰もが社会課題の解決に主体的に取り組める環境を整えてまいります。今後の活動を通じて、さらに地域に根ざした持続可能な取り組みを推進し、より良い社会の実現に貢献していく所存です。